

世界が 懸念 していること

2026年9月

目次

1

ハイライト

2

国別スポットライト:
コロンビア

3

調査手法

世界が懸念していること？

イプソスの「世界が懸念していること」調査では、世界30か国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

本レポートでは、以下の3つの指標について、世論の動向を追跡しています：

- **懸念事項：** 自国が直面している最大の懸念
- **進んでいる方向：** 自国が正しい方向に向かっているか、あるいは間違った方向に向かっているかについての見解
- **経済状況：** 自国の現在の経済状況が良好か、あるいは悪化しているかについての評価

各国および各懸念事項ごとの調査結果の詳細な内訳も、ご要望に応じてご提供可能です。

詳細については、
Joseph.Nadler@ipsos.com
までお問い合わせください。

今月のハイライト

懸念事項

気候変動への懸念は、先月、世界の多くの地域で異常気象が発生したことを受けて高まりを見せましたが、依然として17%という高い水準で推移しています。これは2024年10月(同じく17%)以来の最高値です。

一方、約100日前に起きたイラン戦争による最初の衝撃が収まった後も、インフレへの懸念は29%で横ばいとなっており、失業と並んで2位となっています。カナダ(51%)と米国(45%)の両国では、生活費への懸念が前月比で大幅に増加しています。同様に、両国とも税金を問題視する人の割合が増加しており、カナダの懸念レベル(29%)は4ポイント上昇し、米国(17%)は5ポイント上昇しました。

今月は、犯罪/暴力が全体として最も大きな懸念事項として首位に立っています。

方向性

30か国において、「自国は正しい方向に向かっている」と答えた人の割合は、今月わずかに低下し、38%となりました。

米国で「正しい方向に向かっている」と答えた人の割合は、8月以降わずかに低下したに過ぎませんが、今月の27%という数値は12か月前より13ポイント低く、2023年6月(当時も27%)以来の最低水準となっています。

一方、コロンビアでは、僅差での選挙勝利を受け、楽観的な見方を示す国民の割合が先月から8ポイント上昇し、52%となりました。ぜひ本レポート内 国別スポットライト の専門家の分析をご覧ください。

経済

自国経済が「良い」状態にあると答えた人の割合は、わずかに上昇し、38%となりました。

今回も、最も悲観的な5か国はいずれもG7加盟国であり、フランスでは楽観的な見方を示す人はわずか10%にとどまっています。

米国は、経済が「良い」と考える人の割合が3ポイント低下したため、G7諸国の中で最も楽観的な国の座を失いました。現在、米国の割合は29%で、34%(8月から3ポイント増)のカナダに次ぐ位置にあります。これは、米国人にとって2026年1月以来15ポイントの低下となります。

国別の主な懸念事項

犯罪/暴力

- ペルー(59%)
- メキシコ(56%)
- スウェーデン(54%)
- チリ(53%)
- ブラジル(52%)
- イスラエル(48%)
- アイルランド(38% — 医療と同率)
- イタリア(33%)

インフレ

- シンガポール(57%)
- カナダ(51%)
- トルコ(49%)
- 米国(45%)
- オーストラリア(44%)
- フランス(33%)
- 日本(32% - 気候変動と同率)

失業

- 南アフリカ(69%)
- アルゼンチン(61%)
- インド(47%)
- 韓国(40%)
- コロンビア(36%)

移民管理

- スペイン(41%)
- 英国(37%)
- オランダ(34%)

汚職、経済的・政治的スキャンダル

- インドネシア(70%)
- マレーシア(53%)
- タイ(52%)

医療

- ハンガリー(64%)
- ポーランド(47%)
- アイルランド(38% - 犯罪と同率)

気候変動

- 日本(32% - インフレと同率)

貧困/社会的不平等

- ドイツ(33%)

課税

- ベルギー(39%)

国別の主要データ

28%

の米国人が医療について懸念を抱いており、8月から4ポイント増加しました。

61%

のアルゼンチン人が、失業を懸念しており、先月から6ポイント増加しました。

30%

のオーストラリア人が移民管理について懸念を抱いており、8月と比べて5ポイント上昇しました。

43%

の韓国人が、自国は正しい方向に向かっていると答えており、9ポイント減少しました。

38%

のアイルランド人が、犯罪/暴力について懸念を抱いていると答えており、先月から12ポイント上昇しました。

26%

のイタリア人が気候変動について懸念を表明しており、先月から7ポイント上昇しました。

さらに詳しく
知りたいですか？

調査対象の全30か国ごとの
個別レポートを作成しました。

こちらまでお問い合わせください。

joseph.nadler@ipsos.com

月次レビュー

対象: 参加30か国の16～74歳の25,010名を対象とした代表的なサンプル(2026年8月21日～2026年9月4日)
出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは各国平均値です。詳細については調査手法をご参照ください。
フィルタ: 国: 世界 | 現在の調査期間: 2026年9月

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

懸念事項	2026年9月の回答率(%) (世界各国平均)	前月からの 変化	前年からの 変化
犯罪/暴力	32%	=	=
失業率/雇用	29%	=	+1
インフレ	29%	=	-1
貧困/社会的不平等	29%	=	=
汚職、経済的・政治的スキャンダル	27%	=	-1
医療	23%	=	=
課税	18%	+1	+1
移民管理	18%	+1	=
気候変動	17%	=	+3
教育	13%	-1	-1
国家間の軍事的な対立	11%	=	=
道徳の低下	10%	=	-1
過激思想の台頭	10%	-1	=
環境への悪影響	8%	=	+1
社会福祉政策/福祉国家の維持	7%	-1	=
テロリズム	7%	-1	-1
コロナウイルス(Covid-19)	2%	=	=
クレジットへのアクセス	2%	=	=

世界が懸念していること 2026年9月

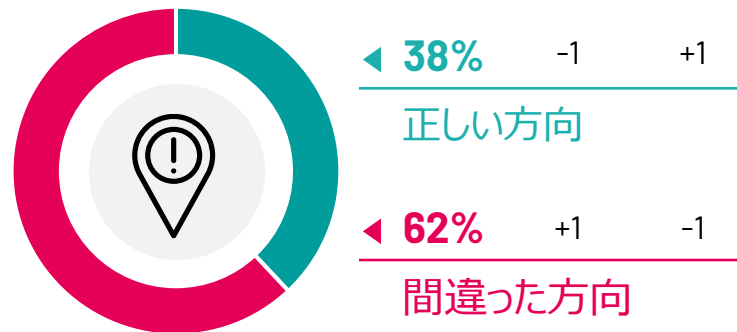
最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

		前月からの 変化	前年からの 変化
犯罪/暴力	32%	=	=
失業	29%	=	+1
インフレ	29%	=	-1
貧困/社会的不平等	29%	=	=
汚職、経済的・政治的スキャンダル	27%	=	-1

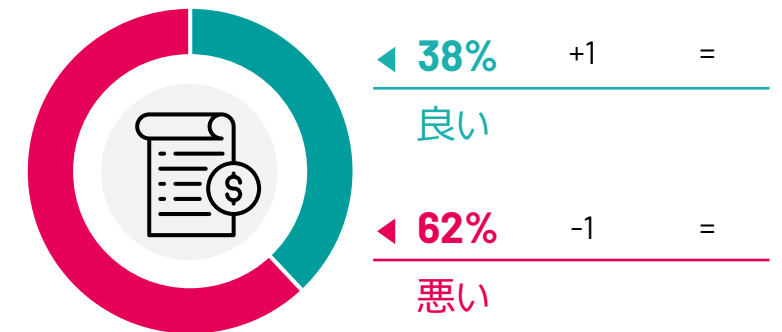
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。

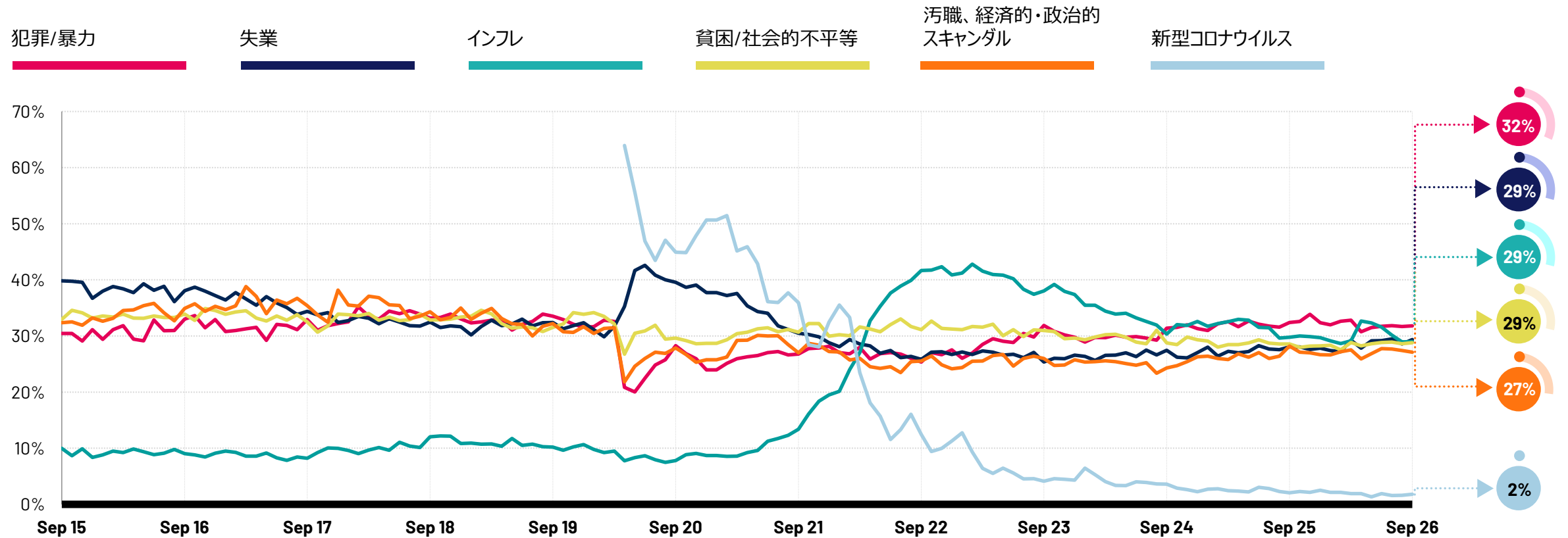


対象: 参加30か国の16〜74歳の25,010名を対象とした代表的なサンプル(2026年8月21日〜2026年9月4日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは各国平均値です。詳細については調査手法をご参照ください。フィルタ: 国: 世界 | 現在の調査期間: 2026年9月

世界の懸念: 長期的トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。世界各国平均

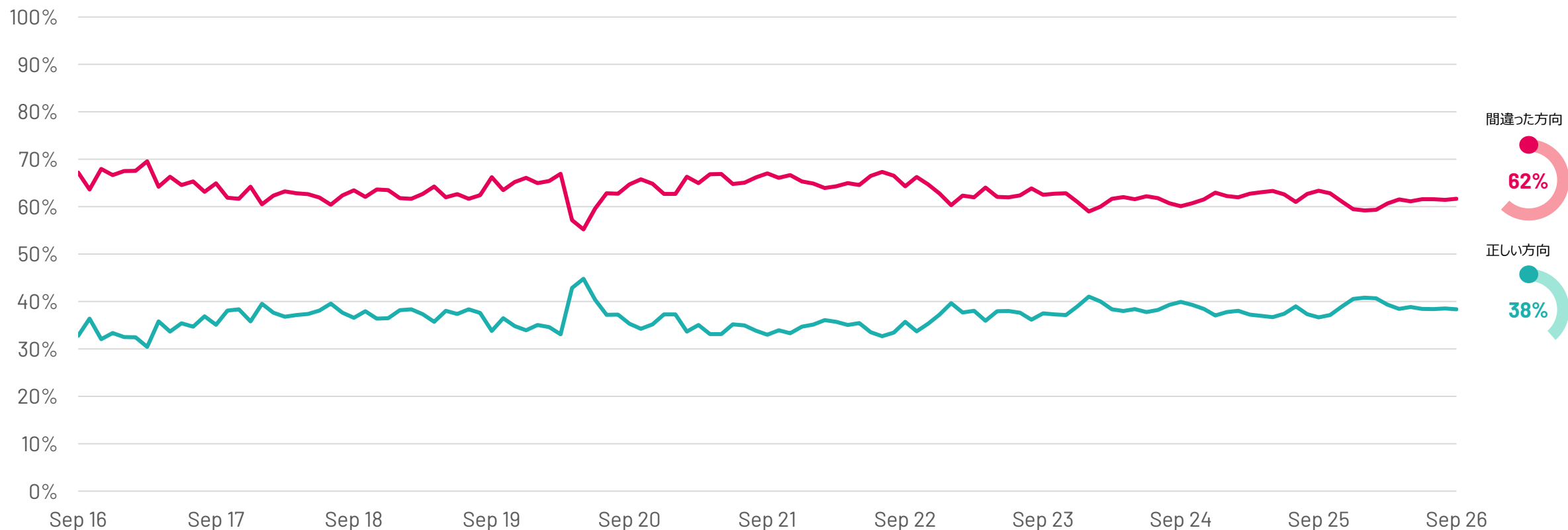


対象: 参加30か国の16~74歳の25,010名を対象とした代表的なサンプル(2026年8月21日~2026年9月4日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは各国平均値です。詳細については調査手法をご参照ください。フィルタ: 国: 世界 | 現在の調査期間: 2026年9月

世界: 正しい方向/間違った方向

Q: この国の状況は正しい方向に向かっていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか？

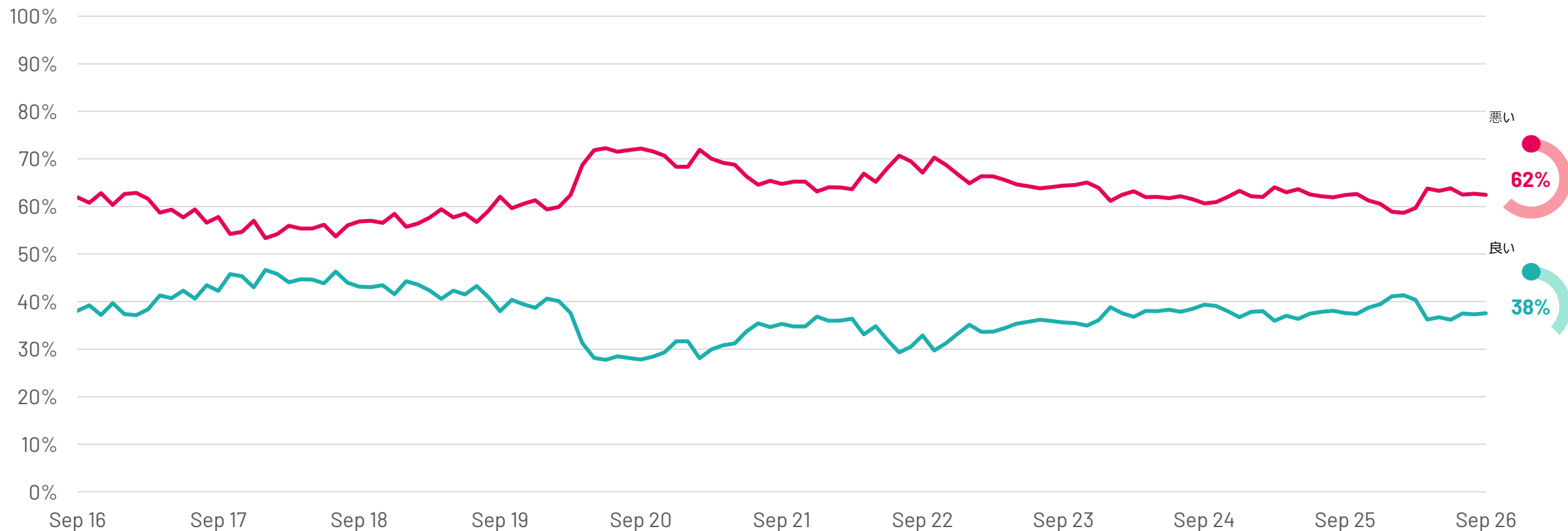


対象: 参加30か国の16〜74歳の25,010名を対象とした代表的なサンプル(2026年8月21日〜2026年9月4日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは各国平均値です。詳細については調査手法をご参照ください。

世界: 現在の経済状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。
(「とても良い」または「やや良い」と「とても悪い」または「やや悪い」の合計割合)



対象: 参加30か国の16~74歳の25,010名を対象とした代表的なサンプル(2026年8月21日~2026年9月4日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは各国平均値です。詳細については調査手法をご参照ください。フィルタ: 国: 世界 | 現在の調査期間: 2026年9月

国別スポットライト： コロンビア

コロンビア

対象: 16～74歳のコロンビア人を対象とした代表的なサンプル。毎月約500人

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは各国平均値です。詳細については調査手法をご参照ください。

2026年5月31日、コロンビアで大統領選挙が行われました。13人の候補者のいずれもが第1回投票で50%以上の得票を獲得できなかったため、6月21日に決選投票が行われ、新たに選出されたアベラルド・デラエスプリエジャ氏が、イバン・セペダ氏を1ポイント未満の差で破りました。

投票が行われた後にしばしば見られる傾向と同様に、コロンビアでも選挙後の楽観ムードが高まりました。自国が「正しい方向に向かっている」と考えるコロンビア人の割合は、今年の7月以来12ポイント上昇し、現在は半数強(52%)となっています。これは、2021年3月に調査対象に加わって以来、同国で2番目に高い数値であり、これより

高い楽観度を記録したのは2022年9月(55%)のみです。

今年初めのチリと同様に、アベラルド・デラエスプリエジャ大統領の誕生により、コロンビアは、ラテンアメリカでまた一つ、**犯罪に対して厳しい姿勢を掲げる**右派の政治家が選出された国となりました。同氏の当選後、犯罪/暴力を懸念していると回答した人の割合は低下しました。

52%

のコロンビア人が、自国は「正しい方向に向かっている」と答えています。

コロンビア

2026年6月、犯罪への懸念は42%に達し、コロンビア人にとって最大の懸念事項でした。今月は33%となっており、失業(36%)に次ぐ2位となっています。

新たに選出された大統領は経済の立て直しを公約に掲げましたが、この点に関してはコロンビア国民は必ずしも納得していないようです。自国の経済状況を「良い」と答えた人の割合は、2026年7月以来9ポイント低下し、38%となっています。とはいえ、経済に関しては、コロンビアはラテンアメリカ諸国の中でも比較的楽観的な国の一つであり、選挙後の好況を享受しているペルー(43%)に次ぐ位置にあります。

対象: 16~74歳のコロンビア人を対象とした代表的なサンプル。毎月約500人

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは各国平均値です。詳細については調査手法をご参照ください。

コロンビアのIpsos Strategy3のアソシエイト・コンサルタント、Emilia Arango Ceballos氏は次のように述べています。

「コロンビアは、より楽観的な局面に入りつつあるようです。国が正しい方向に向かっていていると考える人の割合は52%に上昇しており、1年前から16ポイント増加し、世界平均の38%を大幅に上回っています。(次スライドへ)

42%

のコロンビア人が、犯罪/暴力について懸念を表明しています。

コロンビア

対象: 16～74歳のコロンビア人を対象とした代表的なサンプル。毎月約500人

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは各国平均値です。詳細については調査手法をご参照ください。

この改善傾向は政権交代以前から続いており、2024年後半の35%という最低水準から回復していましたが、8月にアベラルド・デラエスプリエジャ氏が就任し、治安の向上と経済への信頼回復を公約に掲げたことを契機に、政治的な移行期にかけてそのペースが加速しました。

とはいえ、この楽観的な見方は、現状への満足というよりは、国の進むべき方向に対する信頼を反映しているようです。依然として3分の2近くが経済状況を「悪い」と評価しており、懸念事項は失業(36%)、犯罪(33%)、不平等(32%)、汚職(31%)、医療(26%)に比較的均等に分散しており、国民の関心事として特定の課題が突出しているわけではありません。コロンビアは、根強い課題がある

にもかかわらず、しばしば回復力と比較的高い楽観主義を示してきましたが、過去4年間の経験から、これを当然のこととして受け止めることはできないことが示されています。新政権は今後、コロンビア国民にとって依然として最も大きな重荷となっている課題について、新たな期待を目に見える進展へと転換していく必要があります。」



Emilia Arango Ceballos,
Associate Consultant, Strategy3,
Ipsos in Colombia
Emilia.ArangoCeballos@ipsos.com

コロンビアサマリー：2026年9月

最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

		前月からの 変化	前年からの 変化
失業	36%	+2	+2
犯罪/暴力	33%	-4	-16
貧困/社会的不平等	32%	+3	=
汚職、経済的・政治的スキャンダル	31%	-3	-4
医療	26%	+1	-1

国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



対象: 16〜74歳のコロンビア人を対象とした代表的なサンプル。毎月約500人

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは各国平均値です。詳細については調査手法をご参照ください。フィルタ: 国: コロンビア | 今回の調査期間: 2026年9月

現在の経済状況

コロンビア

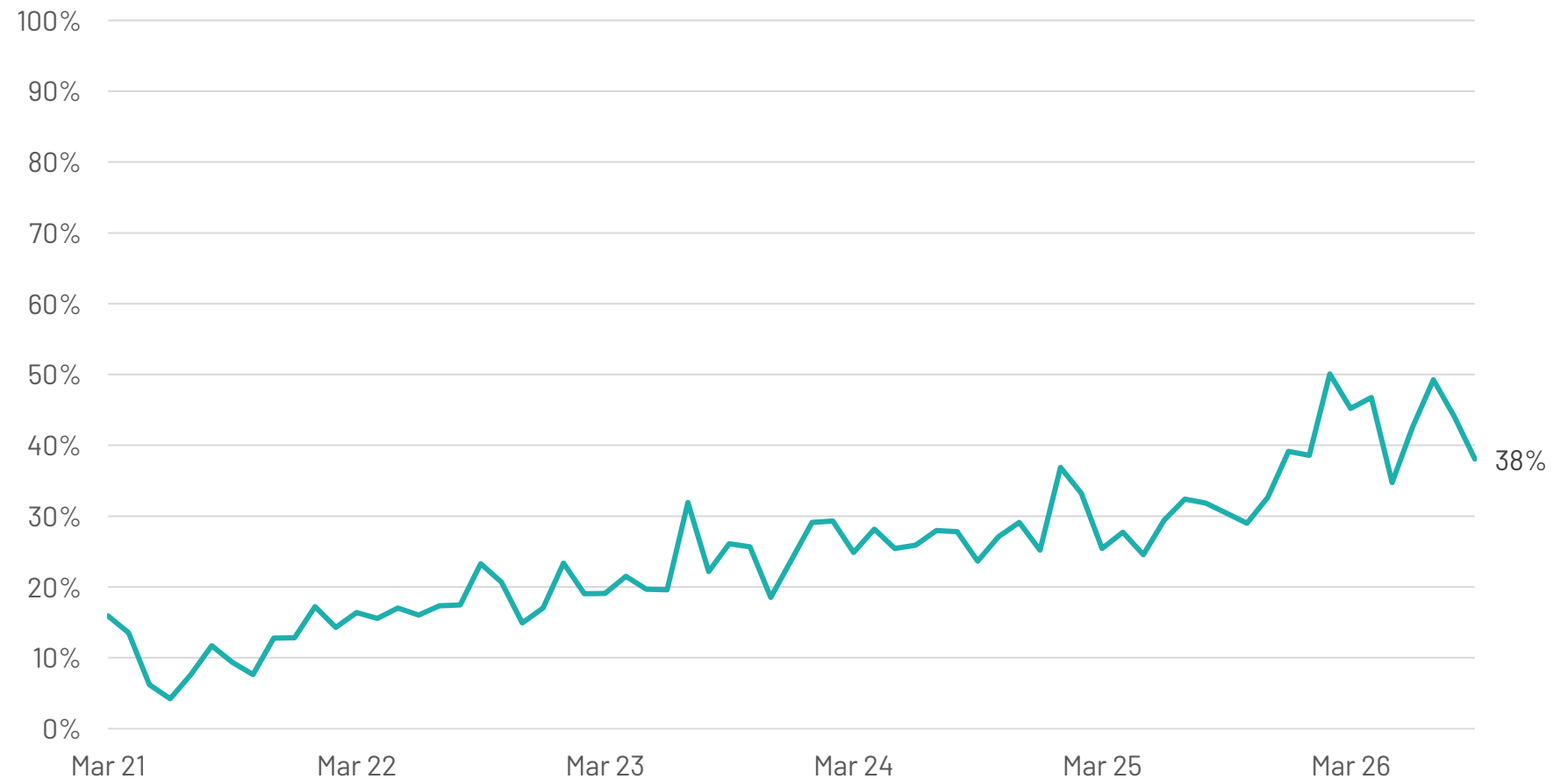
「とても良い」または「やや良い」と回答した割合

対象:16～74歳のコロンビア人を対象とした代表的なサンプル。毎月約500人

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは各国平均値です。詳細については調査手法をご参照ください。

フィルタ: 国: コロンビア | 今回の調査期間: 2026年9月

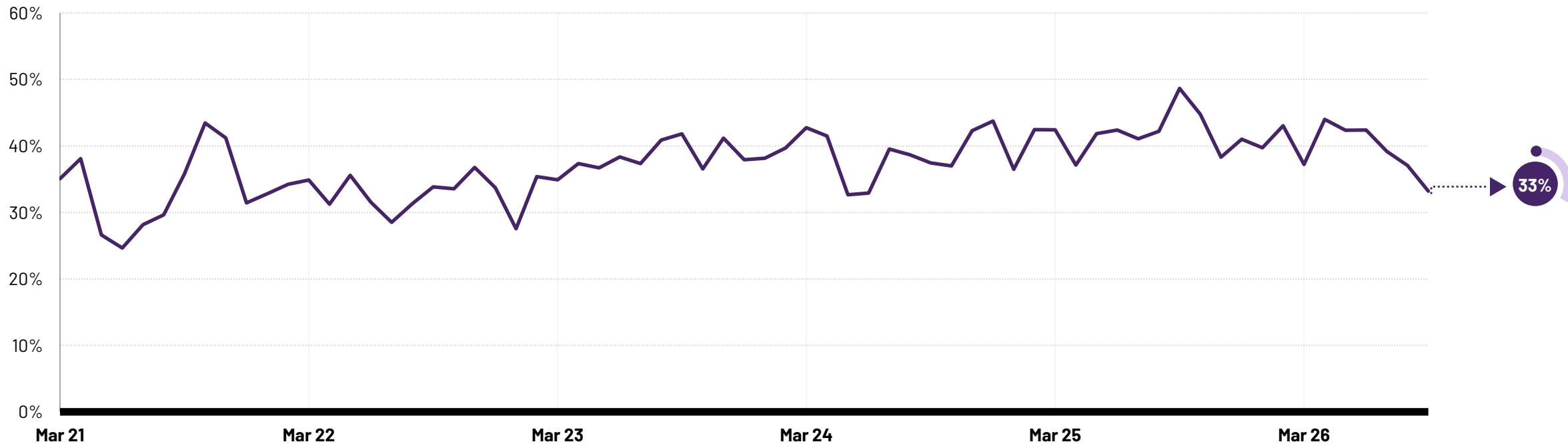
Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



コロンビアの犯罪/暴力への懸念

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

犯罪/暴力



対象: 16〜74歳のコロンビア人を対象とした代表的なサンプル。毎月約500人

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは各国平均値です。詳細については調査手法をご参照ください。

調査手法

これは、2026年8月21日から2026年9月4日にかけて、イプソスが自社のオンラインプラットフォーム「Global Advisor」を用いて30か国を対象に実施した調査の結果です。本調査では、イプソスがインドでは18歳以上の500名、カナダ、アイルランド共和国、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、および米国では18～74歳、タイでは20～74歳、インドネシアとシンガポールでは21～74歳、その他のすべての国では16～74歳の対象者に対し、インタビューを行いました。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、インド、イタリア、日本、オランダ、スペイン、米国ではそれぞれ約1,000名、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、アイルランド、イスラエル、マレーシア、メキシコ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、スウェーデン、タイ、トルコではそれぞれ500名で構成されています。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、および米国の調査対象者は、75歳未満の一般成人人口を代表するものとみなすことができます。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、アイルランド、イスラエル、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて都市部に居住する割合が高く、教育水準が高く、および/または経済的に裕福な層が占めています。これらの国々の調査結果は、その人口のうちよりネットに精通した層の意見を反映したものとして捉える必要があります。

データは、各国のサンプル構成が最新の国勢調査データに基づく成人人口の人口統計的プロファイルを最もよく反映するよう、加重処理されています。「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国および市場における平均結果を反映しています。これは、各国または各市場の人口規模に合わせて調整され

たものではなく、全体の結果を示すことを意図したものではありません。

パーセンテージの合計が100にならない場合や、「差」が実際の結果より±1パーセントポイント多く/少なく見える場合は、四捨五入、複数回答、あるいは「わからない」や「回答なし」の回答が除外されたことが原因である可能性があります。

イプソスのオンライン調査の精度は、信頼区間を用いて算出されており、調査対象数(N)が1,000の場合、誤差は±3.5パーセントポイント、Nが500の場合は±5.0パーセントポイントとなります。イプソスによる信頼区間の使用に関する詳細については、イプソスのウェブサイトをご覧ください。



THANK YOU

CONTACT:

Joseph.Nadler@ipsos.com

VISIT:

www.ipsos.com/ja-jp